

# おばなざわ



来年こそは、花笠まつりで踊ろうね!

### 目次

- 2 … 結城市長初登庁
- 4 … 「はたちを祝う会」開催 (令和3年度・令和4年度対象者)
- 8 … トピックス / 10 … おばなざわ日記
- 12 … みんなのページ / 14 … お知らせ
- 16 … おばなざわ事典

令和4年  
**9月**  
No.853

## おばなざわ事典

### も 最上三十三観音

33力所の観音信仰の霊場からなる「三十三観音」。県内には最上・庄内・置賜のそれぞれにあり、中でも「最上三十三観音」の歴史は古く、室町時代までさかのぼります。観音堂の名前に集落名が付いているのは全国でも珍しく、これは集落の人々が自分たちの手で観音堂を建て、心のよりどころにしたためです。その後、地元住民たちの思いにより、時代を越えて大切に守り伝えられてきました。12年に一度、子歳に合わせ行われる「御開帳」。新型コロナウイルスの影響により2年延期され、今年開催されています。10月31日までの間、普段閉じられている厨子などの扉が開けられ、本尊を拝観することが出来ます。

「最上三十三観音」には番外も含めて34の札所がありますが、そのうち6力所が尾花沢に集まっています。秋の散歩に訪れて、本市に根付く地域文化に触れてみてはいかがでしょうか。

いさざわ  
第21番 **五十沢**  
如金山 喜覚寺

▲戦国時代、この地へ逃れてきた人々が、世の中を悲観し、持ってきた観音像をまつりました。

200段程ある階段を登った先の、山あいにあります。

のべざわ  
第22番 **延沢**  
祥雲山 龍護寺

▲寛文の時代、霊場巡礼中だった土屋又三郎が、夢に現れた天女のお告げをきっかけに建てたそう。

ろくさわ  
第23番 **六沢**  
光沢山 円照寺

▲慈覚大師が、農作物に被害を与えていたムクノキの大樹で聖観音を刻み、安置したことが始まりです。

かみのはた  
第24番 **上ノ畑**  
宝沢山 薬師寺

▲元々は銀山温泉街の奥にあった上ノ畑村の、道のわきにあったようですが、平成8年に現在の場所(寺町)に移されています。

踏むとその場所に行ったのと同じ利益があるとされる「御砂踏」。各御砂は上の畑焼で作られた皿に納められています。

おばなざわ  
第25番 **尾花沢**  
弘誓山 養泉寺

▲松尾芭蕉ゆかりの寺院。芭蕉が訪れた後に焼失し、現在の建物は明治30年7月に再建されたものです。

格天井に納まる絵馬は圧巻です。訪れた際には、せひ天井を見上げてみてください。

にうむら  
第30番 **丹生村**  
鷹尾山 般若院

▲観音の木像を持って旅してきた老僧が亡くなった場所にお堂を建てたことが始まりと伝えられています。

### 市の人口と世帯

	9月1日 現在	前月比
男	7,182人	(-19)
女	7,391人	(-4)
計	14,573人	(-23)
世帯数	5,278戸	(-5)

先月中の動き (届出件数)

出生 ……	3人
死亡 ……	21人
転入 ……	12人
転出 ……	17人
婚姻 ……	4組

### 表紙

#### 「来年こそは、花笠まつりで踊ろうね！」

3年ぶりの開催が期待されていた「花笠まつり」が中止となり、今年の夏も静かに終わるのかな…と思っていた9月の始め、子どもたちが花笠踊りを練習しているようだとのウワサを聞き、取材に向かった。

「ヤッショーマカショ！」園庭に元気な掛け声が響き渡る。今年初めて踊り手としてパレードに参加する予定だったかぶとむし組15人の子どもたち。せっかく覚えた伝統回しを運動会で披露しようと、練習に励んでいた。

来年こそは、夏まつりのフィナーレを飾る「おばなざわ花笠まつり」で踊り手たちの勇姿と熱気に包まれないものだ。(9月7日 ひまわり保育園にて)

～8月10日 市長事務引継～

## 菅根市長から結城市長へ しっかりと市政のバトンが渡されました

8月10日、市長事務引継が行われました。市の概要をまとめた「書類及び帳簿の目録」・「財産等の目録」・「処分未了事項等意見書」について、職員より説明を受けた後、菅根市長、結城市長がそれぞれ引継書に署名・押印し、菅根市長から結城市長へ滞りなく事務が引き継がれました。



～結城市長あいさつ～

菅根市長は4年間でたくさんの実績を残されました。引継ぎの内容をしっかりと受けとめ、市民のために一歩ずつ前に進めていきます。



▲事務引継ぎの様子。石山副市長、五十嵐教育長をはじめ、総務課、総合政策課、財政課、会計課の職員が出席し、市の財産や財政運営状況、取り組むべき事業などを説明。その後、両市長による引継書への署名がなされました。



～菅根市長あいさつ～

これからやるべき重要な事業がたくさんあります。各課と協力し、職員育成を行いながら、市民に喜ばれるような市政運営を進められるよう、お願いします。



8月12日 結城市長初登庁

## 『市民が主役』の まちづくりを目指して

7月24日の尾花沢市長選挙で初当選した結城裕新市長が就任し、8月12日に初登庁しました。1期4年務められた菅根市長から市政を引き継ぎ、新しいリーダーとしてまちづくりに取り組みます。

### 結城市長の新市政スタート 就任式で職員へ訓示

8月12日午前8時30分、立っているだけで汗が流れる夏真っ盛りの朝、徒歩で市役所へと現れた結城市長。庁舎正面玄関前に集まった多くの市民や職員に迎ええられた結城市長は、花束を受け取り、笑顔で庁舎へ入られました。

この後、市役所3階大会議室で就任式が行われ、職員に「市が抱えている課題を市民と共有しながら、職員も市民も一緒になってまちづくりをしていきましょう」と訓示されました。

### 初日から精力的に公務をこなす

結城市長のスケジュールは、就任初日からびっしり埋まっています。就任式が終わると、早速関係機関へあいさつに向かれました。また、8月14日・15日と2日連続で開催された「はたちを祝う会」への出席、9月補正予算の査定を行うなど、精力的に公務をこなしています。9月5日からは9月定例会が始まり、初めての決算議会に臨んでいます。



▲9月補正予算の市長査定の様子。市民生活に有益な事業が行われるよう、職員と対話をしながら予算の使い道を審査しました。また、8月25日・26日には、各課から主な事業の概要や進捗状況、課題などの説明を受け、今後の施策が検討されました。

### 菅根市長、石山副市長が8月11日付で退任

8月10日、市長事務引継が行われた後、菅根市長、石山副市長の退任式が行われました。

8月11日付で1期4年の任期満了となった菅根市長は、退任式の後、大勢の職員に見送られながら退任されました。

また、石山副市長も8月11日付で退任されました。改めてお二人のご功績に感謝いたします。大変お疲れさまでした。



◀「人にやさしくあったかい元気な尾花沢」を目指した菅根市長。新庁舎開庁や市政施行60周年記念事業、第7次総合振興計画策定に携わるなど、市民の誰もが元気に生活できる市政運営にまい進してこられました。



▶平成31年4月から、事務方のトップとして職員をリードされた石山副市長。県庁で培ったノウハウを本市に活かして事業に取り組んでこられました。

～誓いのことば～



▲令和4年度対象の加藤翔龍さん（尾花沢地区・写真右側）と生田玲奈さん（玉野地区・写真左側）。



▲令和3年度対象の阿部颯土さん（福原地区・写真右側）と藤田愛美さん（尾花沢地区・写真左側）。

～市民憲章朗読～



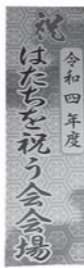
▲清水愛恵さん（令和4年度対象・尾花沢地区）。



▲早坂好誠さん（令和3年度対象・玉野地区）。



「はたちを祝う会」は、今年4月より成人年齢が18歳に引き下げられたことから、イベント名を「成人式」から「はたちを祝う会」に変更。対象者は、これまでどおり満20歳の本市出身者となりました。14日は、新型コロナウイルスの影響により昨年度開催が中止となった令和3年度対象者のうち72人が、また15日には今年度対象者のうち11人が、それぞれ出席。式典では、結城市長のあいさつや来賓の方々からのお祝いのご挨拶、本市出身の4人のふるさと大使からのメッセージ上映が行われました。また「誓いのことば」では、二十歳の代表者が「新型コロナウイルスの流行で将来に不安を感じながら過ごしています。このような困難に直面した時こそ、できることは何かを考え、行動していきたい。お世話になった方々への感謝を忘れず、尾花沢で生まれ育ったことを誇りに、これからの人生を生きていくことを約束します」と述べ、大人としての自覚と決意を新たにしました。



開催日  
・8月14日（令和3年度対象者：159人）  
・8月15日（令和4年度対象者：166人）

はたち  
二十歳を迎えた若者たちが  
サルナートに集う

令和4年度『はたちを祝う会』

はたちのつどい

「はたちを祝う会」終了後、はたちのつどい実行委員会が主催する「はたちのつどい」が開催されました。新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、8月14日・15日とも、短時間で楽しめる抽選会を企画。参加者たちは誰にどの景品が当たるのか、ドキドキしながらくじ引きを見守り、見事景品をゲットした人に拍手を送って盛り上がりました。

（令和4年度対象）



（令和3年度対象）



▲「もしかしたら自分が当たるかも!？」抽選を見守る参加者たちの目は真剣!



▲令和3年度対象の「はたちのつどい」では、サプライズで中学校時代の恩師からのビデオメッセージが上映されました。



▲8月14日・15日それぞれ、出席者全員で撮影した写真が、記念品として贈呈されました(写真は目録贈呈の様子)。



▲結城市長が「この節目を大事にし、夢や希望に果敢に挑戦し続けることを期待します」と激励。



令和4年度  
対象の皆さん

# はたち ～三十歳を迎えた皆さんに聞きました～ 『どんな大人になりたいですか？』

令和3年度  
対象の皆さん

令和4年度の「はたちを祝う会」には、令和3年度対象の皆さん111人（対象者166人）が参加し、久しぶりに顔を合わせた同級生たちと会話を弾ませていました。

二十歳になり、新たな節目を迎えた皆さんに、インタビューしてみました。（撮影のため一時的にマスクを外しています。）

令和3年度の皆さん72人（対象者159人）と、令和4年度対象の皆さん111人（対象者166人）が参加し、久しぶりに顔を合わせた同級生たちと会話を弾ませていました。

どんな大人になりたいか、夢や希望、目標などをインタビューしてみました。（撮影のため一時的にマスクを外しています。）



生徒の背中を押せる  
教師に!!!

立派な  
大人になる!

穏やかな  
人生を  
送る!!

辛抱強い  
大人になる

地元へ貢献したい

優しくて  
素敵な  
先生になる!!

養護教諭  
になる

男前な  
なる!!

"夢はでかく  
心はまあるく!"

父親みたいな  
大人に!!

皆を幸せにする  
アーティストに!!  
etc

かっこいい  
大人になりたい

素敵な  
女性になる!

頼られる  
女性になる!

たくさんの人に  
信頼される  
大人!

大優勝

楽しい  
大人

素敵な女性  
になりたい

かっこいい  
大人

海賊王に  
おれはなる!!

素敵な女性に

楽しむ気持ち  
忘れない